

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和5年2月28日

事業所名: 放課後等デイサービスぱぷりか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・3つの部屋を工夫し、使い分けています。	・1つ1つの部屋が広さがあるわけではないため、活動が限定されることがあります。決められた広さで充実した活動を提供できるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・配置基準は満たしています。	・人員配置を満たしていても、お迎えの際に手薄になる事があります。職員募集は行なっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関に長椅子を設置し、靴の着脱時の対応に活かしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎日、朝に打ち合わせを行なっています。	・朝の打合せや、毎月の話し合いで職員間で意見を言えるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				HP上にアンケート結果を公表しています。改善できるよう、職員間で共有し改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人のHP上で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・今年度、第三者評価を受審しています。	・今年度、第三者評価を受審しました。ただいま結果待ちナタメ、結果が届き次第、改善点等あったら真摯に受け止め改善していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人内の研修、事業所での研修を進んで行なっています。	・法人研修、他事業所研修も引き続き行い、近年中に、強度行動障害の研修も視野に入れています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ケース会議に職員でアセスメントの見直しを行なっています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で話し合いを行い、週案にして活動を実施しています。	・より、充実した活動になるように、個別活動を取り入れたいと職員から声が上がっています。実施できるように取り組んでいきたいと思っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・静と動の個別をつけた活動を取り入れ、活動が固定化しないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日、長期休暇は午前、午後に分けた活動を取り入れています。	・保護者からのニーズの中で、公共交通機関を使った活動をして欲しいとの事だったため感染状況を見ながら取り入れていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・集団活動、個別活動、どちらも取り入れています。	・今後も、その子に合った活動内容(集団活動、個別活動)を取り入れていきます。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・その日の朝に打ち合わせを行います。お迎えやその日の活動を確認します。	・打合せは継続的に行ない、情報共有を図ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後は難しいため、気付いたこと等は記録に残すようにしています。	・退勤時間が異なるため、支援終了後の振り返りは難しいです。引継ぎ帳や翌日の引継ぎ等での情報共有を行なっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録は詳しく書くよう、職員間で徹底して行なっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				・子どもたちの日々の状況、保護者と面談を行ない、検討や見直しを行なっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者会議があった際は、児発管が参加し、その後、職員へ情報共有を行なっています。	・担当者会議での内容は、職員間で情報共有しています。今後も行なっていきます。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・学校お迎え時に情報共有をしています。	・今後も学校と情報共有を行います。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・今年度は、相談支援事業所ともうまく連携が取れていました。	・同じ法人の児童発達支援事業所と引継ぎを行い、スムーズな受け入れができています。今後、積極的に他法人の相談支援事業所等とも情報共有を行い、連携を取っていきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				・移行支援会議には参加できていません。今後、積極的に参加できるようにしていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・通年の課題です。まずは、他事業所との関わりを増やしていきたいです。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳や送り出しの際、保護者と連携を図っています。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・今年度、法人で保護者向けにペアレントプログラム研修を行いました。	・2回開催しましたが、案内期間に時間が無く、保護者の集まりが少なかったです。今後、早目の案内を行い、より多い保護者に来ていただけるようにします。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際、保護者に分かりやすく説明しています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・個人情報の取り扱いについては、契約の際に個人情報同意書に記入してもらっています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・コロナ前は年に2回、家族のつどいを開催していました。	・感染症拡大のため、今年度も中止しています。感染対策を行い、開催できるよう工夫していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・苦情の際は、迅速に対応しています。記録にも残し、今後の課題として取り組んでいきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・月に一度、ばぶりがだよりを配布しています。また、今年度Instagramを始めています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○				・職員間でも都度話し合い、充分に気をつけています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・個々に合わせた意思疎通を図っています。保護者とのやり取りは連絡帳や、送り出しの際に徹底伝えています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				・行事等の招待は行なっていませんが、散策の時、元氣よく挨拶する事を大切にしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○				・事業所に備蓄品を置いています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			・事業所内で、虐待 防止委員会を設置し ています。	・会議の内容を職員間で共有し、研修を行なっ ています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか	○			・現在、身体拘束を束 必要とするケースは ありませんが、ケガ や、事故につながり 様な場合は支	・事業所に身体拘束等適正化委員会を設置して います。全体会などで周知を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○			・現在、食物アレル ギー対応の子どもは おりません。	・今後、アレルギー対応の子どもが利用の場合、 情報提供に基づき、担当医からの指示書に基づ く支援を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			・全体職員会などで 報告し、再発防止に ついて取り組んでい ます。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）